

平成15年度学力向上フロンティア事業中間報告書

都道府県名	宮崎県
-------	-----

I 学校の概要

学校名	山田町立山田中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	10	20
生徒数	96	96	105	1	298	

II 研究の概要

1 研究主題

適切な教育課程の編成・実施・評価及び特色ある教育活動の推進 ～ 確かな学力の定着を目指して ～
--

2 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

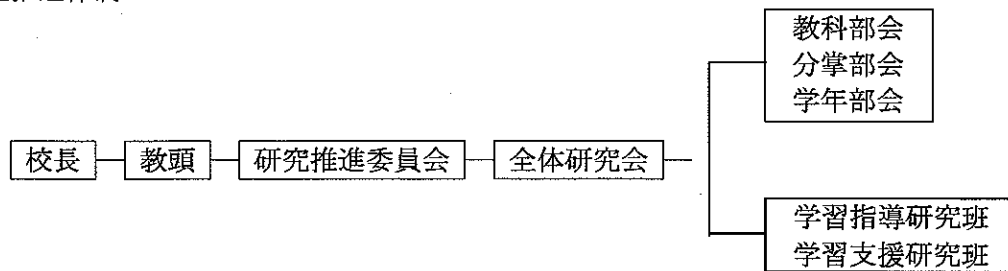
ア 実施学年：全学年

イ 実施教科：全教科

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ 学習指導法の工夫・改善などに取り組むことで、生徒の学ぶ意欲や達成感・成就感を喚起させ、確かな学力の定着をめざす。 ○ 研究の見通し（仮説） <ul style="list-style-type: none"> ① 学習指導法や選択教科・総合的な学習の時間の在り方について、工夫・改善していけば、確かな学力が身につくであろう。 ② 朝の会や帰りの会・家庭学習の在り方などを工夫・改善していけば、確かな学力が身につくであろう。 ○ 研究内容 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">① 学習指導法の工夫</td> <td style="width: 50%;">⑥ 朝の学習の充実</td> </tr> <tr> <td>② 評価の研究</td> <td>⑦ 検定などへの積極的な取組</td> </tr> <tr> <td>③ 教育課程に関する研究</td> <td>⑧ 学びのための環境整備</td> </tr> <tr> <td>④ 生徒会活動を通じた取組</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 家庭学習の充実</td> <td></td> </tr> </table> 	① 学習指導法の工夫	⑥ 朝の学習の充実	② 評価の研究	⑦ 検定などへの積極的な取組	③ 教育課程に関する研究	⑧ 学びのための環境整備	④ 生徒会活動を通じた取組		⑤ 家庭学習の充実	
① 学習指導法の工夫	⑥ 朝の学習の充実										
② 評価の研究	⑦ 検定などへの積極的な取組										
③ 教育課程に関する研究	⑧ 学びのための環境整備										
④ 生徒会活動を通じた取組											
⑤ 家庭学習の充実											
平成 16 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ 学習指導法の工夫・改善などに取り組むことで、生徒の学ぶ意欲や達成感・成就感を喚起させ、確かな学力の定着をめざす。 ○ 研究の見通し（仮説） <ul style="list-style-type: none"> ① 学習指導法や選択教科・総合的な学習の時間の在り方について、工夫・改善していけば、確かな学力が身につくであろう。 ② 朝の会や帰りの会・家庭学習の在り方などを工夫・改善していけば、確かな学力が身につくであろう。 ③ 指導内容や指導法などについて、小学校との連携を深めていけば、確かな学力が身につくであろう。 ○ 研究内容 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">① 学習指導法の工夫</td> <td style="width: 50%;">⑥ 家庭学習の充実</td> </tr> <tr> <td>② 授業形態の工夫</td> <td>⑦ 朝の学習や放課後の学習会の充実</td> </tr> <tr> <td>③ 評価の研究</td> <td>⑧ 小学校との連携</td> </tr> <tr> <td>④ 教育課程に関する研究</td> <td>⑨ 検定などへの積極的な取組</td> </tr> <tr> <td>⑤ 生徒会活動を通じた取組</td> <td>⑩ 学びのための環境整備</td> </tr> </table> 	① 学習指導法の工夫	⑥ 家庭学習の充実	② 授業形態の工夫	⑦ 朝の学習や放課後の学習会の充実	③ 評価の研究	⑧ 小学校との連携	④ 教育課程に関する研究	⑨ 検定などへの積極的な取組	⑤ 生徒会活動を通じた取組	⑩ 学びのための環境整備
① 学習指導法の工夫	⑥ 家庭学習の充実										
② 授業形態の工夫	⑦ 朝の学習や放課後の学習会の充実										
③ 評価の研究	⑧ 小学校との連携										
④ 教育課程に関する研究	⑨ 検定などへの積極的な取組										
⑤ 生徒会活動を通じた取組	⑩ 学びのための環境整備										

(3) 研究推進体制



Ⅲ 平成 15 年度の研究の成果及び今後の課題

1 研究の成果

(1) 学習指導法の工夫・改善・充実

- ア 「目標」「学習課題」「調べる」「まとめ」などのプレートを作成した。これにより、学習活動の流れを再認識するなど、教師に指導法改善への意識づけを図った。
- イ 各教科ごとの生徒の実態から、指導の手立てを明らかにして、その工夫に取り組んだ。
- ウ 生徒に、授業に対するアンケート調査を行い、教師の取組への評価の1つとした。

(2) 学習意欲高揚のための手立て

- ア 朝の職員会を週2回(月・金)にするなど、朝の学習の工夫と充実に努めた。
- イ 学習意欲を高めていくために、生徒会が中心となって、漢字・計算力・英単語・学習態度コンテストなどを実施した。

(3) 学習環境の整備

- ア 授業のはじめに黙想を行うことで、落ち着いた授業の雰囲気をつくった。
- イ 「身につけよう基礎・基本」を各教室に掲示することで、基本的な学習態度を示すとともに、教師・生徒への意識化を図った。
- ウ 学習コーナーを設置し、生徒から募集した標語などを掲示して、学習への意欲づけとした。

(4) 家庭学習の推進

- ア 「宅習時間量調査」と「学習に対する意識調査」を実施し、生徒の実態把握に努めた。
- イ 参観日や学年通信などを利用して、家庭学習の大切さを啓発していった。
- ウ 予習や復習の仕方など、家庭学習を充実させるために、「家庭学習のガイダンス資料」を作成した。また、資料を有効に使うために「学びの集会」を開き、教科別に指導を行った。

2 今後の課題

- (1) 1単位時間・1単元など、場面に応じた評価の工夫をすることで、学習指導法の工夫・改善を進めていく必要がある。
- (2) 「家庭学習のガイダンス資料」を活用させるなど、家庭学習の充実を図る手立てを積極的に行っていく必要がある。
- (3) 小学校などとの連携のあり方を研究する必要がある。

Ⅳ 学力把握のための学校としての取組

- 1 家庭学習を充実させるための指導を行う前(6月)と後(11月)に「宅習時間量調査」を行い、その変容を見たが、大きな変化はなかった。今後も指導を継続していき、家庭学習の充実を図りたい。
- 2 9月に「学習に対する意識・実態調査」を行い、教科の好き嫌いなど学校の授業に関することや、家庭学習の実態を把握して、それぞれについて改善を図った。
- 3 2月に、授業の改善を図るため、日頃生徒たちが教師の授業に対してどのような感想をもっているのかを教科ごとに調べた。またこれと併用して、学習環境の改善を図るため、生徒たちが現在の学習環境をどのように感じているのかも調べ、今後の課題把握のための資料にした。
- 4 2月に、学校全般の取組について、保護者に対しアンケート調査を行い、今後の課題を把握した。

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 1 保護者・地域及び町内各小学校に、学校の取組を11月30日(日)に公開した。来ていただいた方には、学校の取組をまとめたリーフレットを配るとともに、授業参観を行って、学校評価につながるアンケートを行った。
- 2 北諸県地区学力向上推進委員会と協力してホームページを開設し、その中で、本校の学力向上をめざした取組とその成果を紹介することにした。

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- | | | | | |
|----------------------|---|---|-----------------------------|--------------------------------|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | <input type="checkbox"/> 3学級以下 | <input type="checkbox"/> 4～6学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 7～9学級 | <input checked="" type="checkbox"/> 10～12学級 | | |
| | <input type="checkbox"/> 13～15学級 | <input type="checkbox"/> 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導
<input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> T. Tによる指導 | | |
| 【研究教科】 | <input type="checkbox"/> 国語 | <input type="checkbox"/> 社会 | <input type="checkbox"/> 数学 | <input type="checkbox"/> 理科 |
| | <input type="checkbox"/> 外国語 | <input type="checkbox"/> 音楽 | <input type="checkbox"/> 美術 | <input type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| | <input type="checkbox"/> 保健体育 | <input checked="" type="checkbox"/> その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 | | |